

イベント NEWS

西東京をもっと楽しむ情報満載!

多摩六都フェア ライブエンタテインメント ワークショップ発表会 開催・放映決定!

3月23日(日)
午後2時(1時30分開場)
保谷こもれびホール

元気と魅力のあるステージづくりを目指して歌とダンス、マイクパフォーマンスの指導を受けたワークショップ受講生が、その成果を発表します。また、発表会の模様を広く全国に発信するため、ダイジェスト動画をJ:COM(ジェイコム)HPにアップします。詳しくは、市HPをご覧ください。

◆入場整理券を2月16日から保谷こもれびホールなどで配布中

問 保谷こもれびホール
(☎042-421-1919)
◆文化振興課(☎042-438-4040)

新入学児童交通安全の集い

3月24日(月) 午前10時~正午
田無自動車教習所(芝久保町4-4-4)
※雨天決行。当日、直接会場へ

4月から新1年生として小学校に入学するお子さんを対象に、交通安全について家族で学べる集いを開催します。

内 警察官による交通安全の話、交通安全に関する人形劇、白バイ警官による模擬走行など

「いこいな」も参加予定です。

◆道路管理課(☎042-438-4055)



運転者講習会

① **3月27日(木)** 西東京市民会館
② **4月1日(火)** 保谷こもれびホール
いずれも午後7時~8時
※当日、直接会場へ

春の交通安全運動が4月6日(日)~15日(火)に実施されます。運動期間前にぜひご参加ください。

問 西東京市交通安全協会
(清水☎042-461-2210)
◆道路管理課(☎042-438-4055)

NPO等企画提案事業の 事業報告会

3月29日(土) 午前10時から
田無庁舎1階 ※当日、直接会場へ

今年度、市との協働で実施したNPO等企画提案事業の採択団体による事業報告会を開催します。

◆協働コミュニティ課(☎042-438-4046)

春のうきうきるん紙芝居と おはなしスペシャル!

3月29日(土) 午前11時~正午
中央図書館 ※当日、直接会場へ

内 「世界でいちばんきれいな声」「こぞうさんのおきょう」ほか

対 3歳以上(3歳未満は保護者同伴にて可)

□公演者 おはなしaqua(アクア)

◆中央図書館(☎042-465-0823)



10年の時を超えて、 あなたのメッセージを届けます

~タイムカプセルを開封します~

平成16年に市として初めての第1次総合計画を策定した際、市民の皆さんから10年後の夢や希望を託してもらうタイムカプセルを設置しました。タイムカプセルには、皆さんから寄せられた2,000点以上の写真・メッセージカード・手紙などが収められています。

ちょうど10年目となる4月にタイムカプセルを開封し、収められている写真・メッセージカードなどを展示します。また、10年間保管されていた手紙を郵便でお送りします。

- タイムカプセルに収められているもの
 - *10年後の自分自身や家族、友達などに宛てた手紙
 - *10年後に伝えたいまちへの思い、希望、夢などを書いたまちへのメッセージカード
 - *残しておきたい風景やお気に入りの場所など、10年後に伝えたいまちの姿の写真



10年前のタイムカプセル設置の様子

開封セレモニー

タイムカプセルに収められた写真・メッセージカード・手紙を取り出します。
時 4月10日(休)午前10時から
場 田無庁舎2階ロビー

写真、メッセージカードの展示

時 4月17日(休)~5月7日(水)午前8時30分~午後5時(土・日曜日、祝日を除く)
場 田無庁舎2階展示コーナー

手紙の郵送

タイムカプセルから取り出した手紙を封筒に記載された住所へ郵送します。住所・宛名に変更がある場合は、電話・ファクス・郵送・Eメールで、封筒に記載している宛先・差出人・変更内容を明記し、〒188-8666市役所企画政策課へ、または直接持参(田無庁舎3階)
◆企画政策課(☎042-460-9800・FAX 042-463-9585・✉kikaku@city.nishitokyo.lg.jp)



大好きです 西東京

市内の情報をお届けします

わが街 郷土編

西東京市には、春夏秋冬4つの市の花があるのをご存じですか。春の花は「つつじ」。このつつじ、美しいばかりでなく、ある重要な役割を持っています。それは、今でもこの季節に市内を悩ませる土埃を防ぐこと。同様の役割を担っていたものに「お茶の木」もあり、すっかり廃れてしまいましたが、かつては市内でもお茶の生産が盛んで、「保谷茶」というブランド茶もあるほどでした。今でも畑の境などにお茶の木を見ることができ、折に探してみてください。



市の花つつじ



山のように見える屋敷林(下保谷地域)

西東京市は武蔵野台地の中央に位置しており、「赤土」と呼ばれる関東ローム層の上を強い風が吹く土地です。この風を防ぐもうひとつの大切なものが「屋敷林」です。家屋のまわりを囲む雑木林に生える「けやき」は市の木の一つにもなっており、「屋敷林」「雑木林」は市の文化的景観をつくっている大切な要素です。しかし、国木田独歩の著名な小説「武蔵野」など、この地域のイメージを代表するような雑木林の風景も、実は江戸時代になってから人の手によって作られたものなのです。

古い和歌に「行く末は空も一つの武蔵野に草の原より出ずる月影」と読ま



桜樹接種碑(小金井市内)

陽射しもだいぶ和らいで、色とりどりの花が街を明るくする季節がやってきます。今回は市内の花散歩に出掛けましょう。

れたほど、かつては木も少なくススキなどが生い茂る荒涼たる土地でした。江戸の町が大きくなるに従い、必要な燃料としての薪や炭にするための木を、江戸近郊の地に植えたのがこの風景の始まりなのです。

郷土資料室の窓を四季折々に彩る西原自然公園。ここには武蔵野の雑木林が残されていますので、郷土資料室で市の歴史や風景の移り変わりを調べながら、公園でお弁当を頬張る散策もいいですね。

市内にはこのように人の手によってつくられたすてきな景観として、国の名勝「小金井桜」もあります。江戸時代中期に玉川上水沿いに植樹された桜の名所です。ヤマザクラですので、お花見のお出掛けはソメイヨシノよりもちょっと遅めに。また、少しだけ足を延ばして小金井市域の関野橋付近まで行けば、「桜折るべからず」と刻まれた、田無村の名主下田半兵衛が建てた江戸時代後期の桜の補植事業を示す「桜樹接種碑」を見ることができ、小金井公園はそのすぐ先です。



稗倉の礎石を模したモニュメント(西東京いこいの森公園)

そうそう、下田半兵衛といえば、飢饉に備え下田家の敷地内に作られた「稗倉」を記念した礎石のモニュメントが、西東京いこいの森公園にあるハンカチの木(いこいな)の帽子に花が付いていますのすぐそばにありますので、こちらも散策の際にはお見逃しなく。

今年の春はぜひ、美しい景観の中に隠れた歴史を感じながらの散策をお楽しみください。

◆社会教育課(☎042-438-4079)
◆秘書広報課(☎042-460-9804)

ふるさと発見!

4